

こまつがわからのお知らせ

<就労支援事業>

初年度は、コロナ禍の中で在宅勤務や時短営業になり、障害者就労にも多大な影響がありました。こまつがわも「消毒作業や手洗いなどの促し等」今までにない業務が増えました。これまでの業務はいい意味で「適当に」という言葉も出ましたが、「消毒」については「適当に」「アルコールを節約して」「めんどくさい」は言えません。『丁寧に』『適量を』『まめに』という言葉に変わりました。このような小さな変化の日常ですが、皆で力を合わせて乗り越えていけると信じています。

<居住支援事業>

ようやく寒い時期が終わりを告げ、センターこまつがわ前の桜が満開の季節となりました。道路の両サイドに咲く桜のトンネルは、居住支援を利用している方の門出をお祝いしているのでしょうか？まるで桜の後押しがあったかのように、なかなかお部屋探しが進まなかった3名の方が素晴らしい物件に巡り合うことができました。本当におめでとうございませす。これからの新しい生活がこの桜のように前途洋々たる未来へと続くことを祈ります。

<ピアサポーター育成事業>

令和2年度の研修が終了しました。コロナの影響もあり少しバタバタしてしまいましたが、受講生の方々の頑張りで、良い研修になったのではないかと思います。認定証のお渡しは4月になってしまったので、受講生の笑顔は来月号に掲載します。

令和3年度の研修の説明会は、5月を予定しています。来月号でお伝えできると思います。もう少しお待ちください。

<広報部 ぼくら>

隣のコーナーにあるように、ピアサポーター育成事業が終了しました。昨年9月から約半年、10回以上の講義を経てきたので、感慨深いものがあります。なかなか大変ではありましたが、終わるとちょっと寂しい気もします。これほど自分のことを話し、また他のメンバーのことを聞く機会は、なかなかないと思います。

また先日初めて施設での実習を経験しました。緊張感があり終わった後はとても疲れましたが、いい経験になりました。今後も機会があれば、実習はまたやってみたいと思っています。(ST2)

こまつがわ美術館

センターこまつがわの芸術家さん達が心を込めて…

作家紹介：猫人さん

手先の器用な方でお仕事でも職人技を生かしているそうです。

今回は「ドールハウス」3点を紹介いたします。米粒よりも小さなお皿など、目を凝らしてご覧ください。(右上の写真で、百円玉と比べてみてください)

